

大学進学を主目的とした普通科の活性化について

- 1 高校の進路状況からみた学校（学科）の特性について
(H28.11.21総合教育会議資料再掲)
- 2 県立高校活性化の基本方針（グランドデザイン）
- 3 個性を伸ばす高校教育
- 4 進学状況について
- 5 大学進学を主目的とした普通科の活性化策について
- 6 通学区域について
- 7 岐阜高校の状況と活性化策について

1 高校の進路状況からみた学校(学科)の特性について

(H28.11.21総合教育会議資料再掲)

大学等
(四年制大学・短大)

専門学校等
(専修学校・予備校等)

就 職

本日の
テーマ

「進学指導推進事業」
生徒の学力向上や教師の指導力向上を推進

「地域連携による
活力ある高校づくり
推進事業」
G1で実施した協議会を
G2の6校に拡充

県地方産業教育審議会
において審議
今後の本県の
産業教育の在り方
について審議

✓ 選抜性の高い大学への進学が多い普通科

大学等**85%**／専門等**14%**

四年制大学進学者のうち **国公立:私立=5:5**

(新卒進学者のうち)国公立**30%以上**

✓ いわゆる中堅進学校とされる普通科

大学等**81%**／専門等**12%**

四年制大学進学者のうち **国公立:私立=2:8**

(新卒進学者のうち)国公立**30%未満**

✓ 進路先が多様な普通科 大学等**34%**／専門等**26%**／就職**37%**

✓ 総合学科 大学等**39%**／専門等**27%**／就職**31%**

✓ 農業科 大学等**25%**／専門等**26%**／就職**48%**

✓ 工業科 大学等**13%**／専門等**13%**／就職**73%**

✓ 商業科 大学等**41%**／専門等**20%**／就職**38%**

✓ 生活産業科 大学等**31%**／専門等**30%**／就職**35%**

※ H25～H27の3年間の平均値（アルバイト・無職・不詳は含まない）＜県教育委員会調べ＞

2 県立高校活性化の基本方針（グランドデザイン）

- 高校の特性に応じた活性化の基本的な考え方を定め、具体的な活性化策等を例示
- 「県立高等学校の活性化に関する平成28年度の検討まとめ」として発表（H29.3.29記者発表）

基本理念 県内の各地域（学区）において、高校の特性や学科配置のバランス等を考慮した上で、質の高い多様な学びの選択肢のある教育環境を整備し、魅力ある高校づくりを推進する。

	特性（進路状況）	活性化の基本的な考え方	具体的な活性化策（例）
普通科等	選抜性の高い大学への進学が多い	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバルリーダーの育成 ○ <u>個別のより高度な学習ニーズへの対応</u> ○ <u>新大学入試制度や新学習指導要領を見据えた探究的な学習を積極的に推進</u> ○ キャリア教育や進路支援体制を充実 ○ 地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高等教育機関の教育力を積極的に活用したより高度な学習機会の提供 ◆ 少人数による主体的・対話的で深い学びの推進 ◆ 進学重点型の単位制へ改編 ◆ 授業時間以外の補習体制の充実 ◆ 大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
	いわゆる中堅進学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学習できる教育体制の構築 ○ <u>個別の進学希望へのきめ細やかな対応</u> ○ <u>大学合格実績の向上</u> ○ キャリア教育や進路支援体制を充実 ○ 地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進学希望別（コース別）教育課程の編成 ◆ 進学重点型の単位制へ改編 ◆ 授業時間以外の補習体制の充実 ◆ 大学卒業後の進路を見据えたキャリア教育の推進
総合学科	進路先が多様	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な進路希望にきめ細かく対応 ○ 多様な生徒（中途退学経験者、不登校経験者、特別な支援を必要とする生徒等）への対応 ○ キャリア教育や進路支援体制を充実 ○ 地域から求められる人材を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 進路実現型の単位制や総合学科へ改編 ◆ 屋間2部(午前・午後)、通信制（平日スクーリングタイプ）への改編 ◆ 「少人数コミュニケーション講座」の開設 ◆ デュアルシステムの導入・充実
専門学科	学科によって進路状況に違いがある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県の地域産業を担う人材を育成 ○ 少子化に伴う学校の小規模化への対応 ○ 産業構造の変化等による新たなニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域産業やニーズに応じた学科の再編成や学科名称の変更 ◆ 柔軟な定員設定や類型（くくり）募集 ◆ 学校規模にあった学科改編 ◆ 複数の専門学科の併置校へ改編
定時制・通信制		<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な生徒、多様な学習ニーズや学習スタイルへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 夜間定時制を多部制に改編（昼間部の新設） ◆ 全日制タイプの高校に改編

- <その他>
- ・ リーダー性やグローバルな能力育成、国際標準の教育を推進するため、国際バカロレアについての研究を継続するとともに、国際バカロレアの利点を高校教育全般に活用する視点を重視
 - ・ 県立の併設型中高一貫校等に対する県民ニーズの変化を確認しながら、その在り方について継続して検討
 - ・ 日本語指導が必要な外国人生徒に対する現在の取組を継続、発展させるとともに、積極的に受け入れるコースの設置等についても検討
 - ・ 多様な生徒に対応できるよう「新子どもかがやきプラン」と連動した指導体制構築が必要

3 個性を伸ばす高校教育

◆スーパーハイスクール

スーパーサイエンスハイスクール (SSH)

- ✓ 先進的な理数系教育
- ✓ 大学等の研究機関との連携
- ✓ 創造性・独創性の育成 (体験的学習、課題研究)

恵那
岐阜農林

スーパーグローバルハイスクール (SGH)

- ✓ グローバル・リーダーの育成のための教育
- ✓ 大学・企業・国際機関等との連携
- ✓ フィールドワークを通じた課題研究

大垣北 岐阜商業
関 多治見北
斐太

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH)

- ✓ 専門的職業人の育成のための教育
- ✓ 大学・企業等との連携
- ✓ 地域や産業界のニーズを踏まえた実習等の実施

岐阜商業
大垣桜
岐阜工業

スーパーハイスクールセッション (SSS)

- ✓ SSH・SGH・SPHから意欲のある生徒を募集
- ✓ 互いの研究成果を生かして自由なアイデアを提案

今年度は岐阜大学と共催

◆科学の甲子園

各県で選抜された高校生のチームが、理科・数学・情報分野の筆記・実技を競う全国大会

→ 岐阜高校チームが優勝! (H28)

◆自然科学系部活動

岐阜高校自然科学部生物班

H19年から絶滅危惧種「カスミサンショウウオ」の保全について研究

→ 全国野生生物保護実績発表大会環境大臣賞(H26)
日本水産学会春季大会高校生部門銀賞(H29)

4 進学状況について

◆ 国公立大学合格者数の状況

<選抜性の高い大学への進学が多い普通科（11校）>

	国公立大学合計			東京大学			京都大学			名古屋大学			岐阜大学			難関大学		
	H20	H24	H28	H20	H24	H28	H20	H24	H28	H20	H24	H28	H20	H24	H28	H20	H24	H28
合計	1,901	1,793	1,776	25	21	28	55	45	33	206	205	150	326	338	369	414	381	291
割合	54.6%	52.0%	50.5%	0.7%	0.6%	0.8%	1.6%	1.3%	0.9%	5.9%	5.9%	4.3%	9.4%	9.7%	10.6%	11.9%	10.9%	8.4%

<いわゆる中堅進学校とされる普通科（14校）>

	国公立大学合計			名古屋大学			岐阜大学		
	H20	H24	H28	H20	H24	H28	H20	H24	H28
合計	613	527	471	19	19	10	138	88	55
割合	16.3%	14.0%	12.7%	0.5%	0.5%	0.3%	3.7%	2.3%	1.5%

※ 合計は過年度卒業者を含む合格者総数
 ※ 割合は卒業生数に占める割合
 ※ 難関大学：北海道、東北、東京、東工、一橋、名古屋、京都、大阪、神戸、九州の10校

◆ 国公立大学入学者における推薦・AO入試活用状況（H26.3～H28.3 3ヶ年平均）

<一般入試、推薦・AO入試別_国公立大学入学者割合（高等学校新規卒業生）>

	3ヶ年平均	
	一般	推薦・AO
選抜性の高い大学への進学が多い普通科	88.0%	12.0%
いわゆる中堅進学校とされる普通科	68.1%	31.9%

※割合は、新規高卒者の国公立大学入学者に占める割合
 <県教育委員会調べ>

- 国公立大学合格者割合は減少傾向
- 選抜性の高い大学への進学が多い普通科においては1割程度、中堅進学校においては3割程度が推薦入試を活用

👉 **普通科において、学校の状況に応じた進学希望の実現に資する活性化策を講じる必要**

5 大学進学を主目的とした普通科の活性化策について

進学指導推進事業

進学指導 重点校事業

- 大学進学を主な目的とした普通科高校から4校を指定し、**生徒の学力向上や教師の進学指導力向上を推進**

<進学指導重点校> 岐阜北高校・大垣南高校・加茂高校・可児高校

<取組例>

- ・ 放課後や土曜日における学習支援員の配置
- ・ 教員の研修講座や外部団体主催教員セミナーへの参加
- ・ 大学教員や専門家による生徒向けの講演、課題研究の指導
- ・ 学習成果を、大学入試に積極的に活用（推薦・AO入試）

進学指導 連携事業

- 大学進学指導連絡協議会（8校会※）が主体となり、高校間で連携を図り、**効果的な受験対策とモチベーション向上**を図る

※8校会参加校：岐阜・岐阜北・大垣北・関・可児・多治見北・恵那・斐太

<取組例>

- ・ 他校の生徒と合同で難関大学対策や受験勉強に取り組む学習合宿の実施
- ・ 教員向けの大学進学指導対策、指導力向上のための講座の開催

↓
教育研修課主催の研修講座にも位置づけ

※ハード面の支援（自習室の整備）

- ✓ 学級減により発生した空き教室等を、自習室に用途変更
- ✓ 平机ではなく、仕切りを設けた個別ブース型

6 通学区域について

◆ 岐阜県立高等学校の通学区域に関する規則

<県内全域から受験が可能>

H28全日制定員 **7,960人** うち他学区からの入学者 **914人**

理数科・英語科・音楽科・美術科・農業科・工業科・商業科・家庭科・福祉科・総合学科・単位制普通科（本巣松陽、各務原西、不破、東濃、中津） 及び 定時制課程、通信制課程の全科

<居住する学区の他、隣接学区からの受験が可能>

H28全日制定員 **6,840人** うち隣接学区等からの入学者 **351人**

学区	学年制普通科（以下の学校に設置の普通科）	隣接学区（受験可能な学区）
岐阜	岐阜・岐阜北・長良・岐山・加納・羽島北・羽島・各務原・山県	西濃学区、美濃学区、可茂学区
西濃	大垣北・大垣南・大垣東・大垣西・海津明誠・揖斐・池田	岐阜学区
美濃	関・関有知・武義・郡上・郡上北	岐阜学区、可茂学区、飛騨学区
可茂	加茂・可児・八百津	岐阜学区、美濃学区、東濃学区、飛騨学区
東濃	多治見・多治見北・坂下・瑞浪・恵那	可茂学区、飛騨学区
飛騨	斐太・飛騨高山・吉城・益田清風	美濃学区、可茂学区、東濃学区

H28年度公立全日制定入学者数に占める他学区からの入学者計 **1,265人**

◆ 通学区域に関する全国状況

全県一区	24都府県 （青森、宮城、秋田、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、新潟、石川、福井、山梨、静岡、滋賀、大阪、奈良、和歌山、鳥取、広島、山口、高知、大分、宮崎）
普通科等について 隣接学区等からの受験可	20道府県 （北海道、岩手、福島、千葉、長野、岐阜、三重、京都、兵庫、島根、岡山、徳島、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、沖縄）
普通科等について 他学区からの受験不可	3県 （山形、富山、愛知）

7 岐阜高校の状況と活性化策について

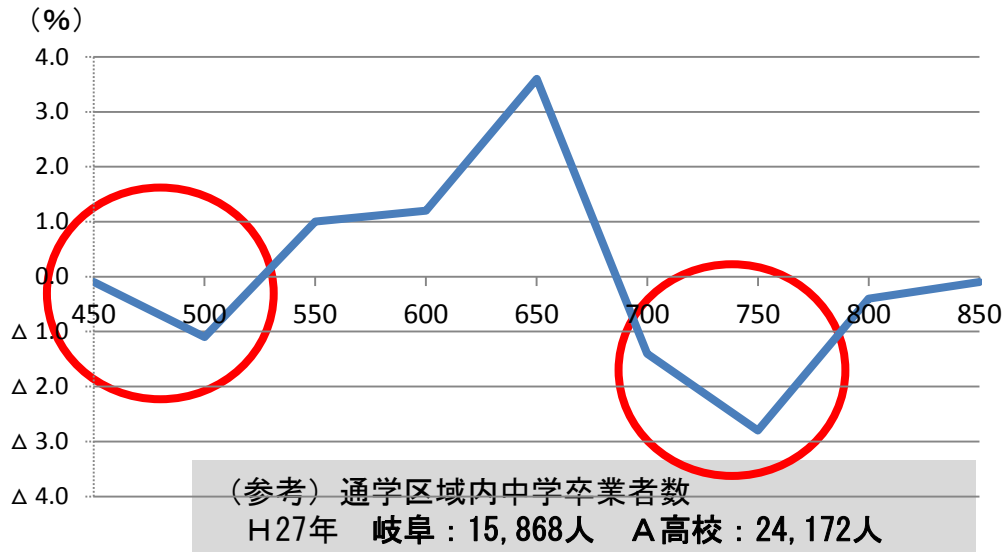
① 国公立大学合格状況

※合格者数は過年度卒を含む

	東京大学		京都大学		国公立 医学部医学科	
	H24.3	H28.3	H24.3	H28.3	H24.3	H28.3
岐阜高校	12	21	23	20	25	30
県内における選抜性の高い大学への進学が多い10校の計	9	7	22	13	32	23
近隣の某有力高校(以下、A高校)	27	26	20	22	21	23

県内進学校との比較では、突出した成果をあげている

② 大学入試センター試験におけるA高校との比較 (得点別人数構成比の差(岐阜-A高校) H27~H29平均)



上位層の比率がやや低く、不振者層の比率もやや低い

③ 対外模試における文理別偏差値状況 (人数構成比H27~H29平均)

国立文系希望	岐阜	A高校	差
受験者数	106人	114人	
偏差値60以上	49.9%	43.6%	+6.3%
偏差値50以上	93.8%	90.6%	+3.2%

国立理系希望	岐阜	A高校	差
受験者数	250人	231人	
偏差値60以上	35.5%	41.0%	△5.5%
偏差値50以上	85.6%	86.1%	△0.5%

文系上位者の比率が高く、理系上位者の比率が低い

岐阜高校のこれから

知的好奇心を刺激し、学習意欲を高め、高い能力を持つ仲間と切磋琢磨
確固たる進路目標を持たせ、実現のための支援を一層充実

→ 成績上位者（特に理系）の一層の伸長、成績中下位者への底上げ



実施すべき施策

■ 進路希望別のきめ細かな授業展開

例) 志望する職種や大学別に集めた英語、数学、国語の授業
実験中心の理科の授業や論文講読中心の英語の授業など

■ 大学入学後の学びに直結する探究的な学びの実現

✓ **活動報告書（AO入試において本人が作成する資料）につながる学び（大学入試改革への対応）**

例) 専門家による講演や体験活動を授業内で実施

学校外での研究活動等を岐阜高校における取得単位として認定

✓ **インターネット等を活用して大学の授業を受け、単位認定**

例) 東京大学「高校生のための金曜特別講座」 等

実現のための環境整備 ➡ 「単位制」の導入

- 進路希望に応じた多様な選択教科が開設可能
- 授業時数増に対応できる教員数の増加
- 特色のある教育環境を、全県の生徒が選択可能

<実現に向けた指標>

- ✓ **難関大+国公立医学部医学科の合格者（現浪計）の卒業生に対する割合を40%以上へ引き上げ（将来的には50%以上）**

（現状）H25～H29の平均：34.6%

- ✓ **大学入試センター試験において
地元国立大学合格A判定（合格可能性80%以上）の得点者が85%以上**

（現状）H25～H29の平均：80.1%

特色ある教育の成果を、県内進学校へ還元

本日の論点整理

- 高校における生徒の個性を伸長する教育の一層の充実について
- 岐阜高校に単位制（※）を導入すること、また、通学区域を全県一区（全県からの入学が可能）とすることについて

※単位制

学年による区別がなく、学校が定められた単位数を習得すれば卒業が認められる高校。進路決定に必要な科目が選択でき、主体的な学習が可能。